

すこやか通信

2022年2月15日発行
 問合せ
 富士見市民センター
 TEL049-287-1661

青少年健全育成推進協議会をご存知ですか？

鶴ヶ島市では、市内の全中学校校区ごとの5地区に「青少年健全育成推進協議会」が設置されています。わが富士見中学校地区は第3地区になります。地区内の自治会・民生児童委員・子ども会・少年スポーツ団体・PTA等の代表者、杉下小・栄小・富士見中の校長、教頭、富士見市民センター・東市民センター、会の趣旨に賛同する個人会員で構成され、運営は会員から選出された常任理事会の討議で行われています。事務局は富士見市民センター・東市民センターが担当。青少年の育成を担当する研修部、地域の大人・親への啓発の担当の指導部、青少年の実態に関する情報収集・広報の広報部の3部会です。地区内各団体の主催行事に、人的支援をすることを通して、地域と青少年の連携を図ることができる環境づくりを大きな目標としています。皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



会長挨拶

第3地区青少年健全育成推進協議会 会長 中島 利秋

日頃の青少年健全育成活動にしまして、地域の皆様をはじめとして、行政・各関係団体等、多くの皆様にご理解ご協力いただきありがとうございます。

令和3年度の活動は、昨年同様新型コロナウイルス感染拡大防止の為、当初の計画に対して中止せざるを得ない状況が続いて各専門部の担当者の方々も対応に苦慮されたとお察しします。

来年度こそ新型コロナウイルス感染が収束して本来の活動が活発に実施されることを願うばかりです。

地域の宝であり、将来の地域を担う子ども達の健全育成は皆様の共通の願いです。子ども達が安心して学べる地域づくりを目指して皆様と共に歩んでいく所存です。

今後も地域の皆様をはじめ、多くの皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、活動がままならない状況の中「すこやか通信」を発行することに至った広報部の皆様に深く感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

本部事業



新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、昨年度に引き続き講演・講座等の開催は残念ながら見送ることとなりました。杉下小学校及び栄小学校、富士見中学校の環境整備事業を実施し、花壇整備や花植えに役立てていただきました。先生に教わりながら丁寧に球根を植える児童の姿もあり、自然を慈しむ豊かな心を育む機会になったのではないかと思います。



研修部

研修部では、令和3年7月14日（水）に第1回研修部会議、10月20日（水）に第2回研修部会議を行いました。

毎年12月に杉下小学校と栄小学校の児童と富士見中学校生徒が富士見中学校体育館に集まり競技を行う「ミニ運動会」は新型コロナウイルスの影響を考慮し中止とさせていただきます。また、1月に開催のどんど焼きの際に「正月遊びコーナー」を予定しておりましたが、こちらもどんど焼きが中止になりました。

上記決定に伴い、本年の研修部活動は終了いたしました。来年度以降はコロナがなくなり、活動ができることを心から願っております。

指導部

年末パトロールの開催

指導部では、富士見中学校終業式に合わせ令和3年12月24日に防犯パトロールを行いました。新型コロナウイルスの感染拡大も考慮しクリスマスの繁華街の人混を避け、声掛けを行いました。途中薄暗くなる街中を自転車帰宅する子どもの姿を見かけ、ライトの灯火など注意しながら見守りました。

この時期、夕焼け放送の頃には既に薄暗くなりはじめ、車の交通量も増えてくる時間帯ですので、車での移動の際に特に気を付けなければならないと思います。

次回は令和4年3月15日に富士見中学校卒業式に合わせパトロール行う予定です。



イルミネーションのなか見守り、声掛け活動を行いました。

市民センターから

富士見市民センター

令和4年成人式の開催

令和4年1月9日に成人式（富士見中学校区）が挙行されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密にならないように今年も栄小学校が会場となり、式典後の「成人者のつどい」を行わず、式典のみとなりました。

式典の司会は、佐竹さくらさん。凛とした姿で淀みない見事な進行をしていただきました。中井風雅（ふうが）さんは会場で感染防止対策として参加者が密にならないよう呼びかけをしていただきました。また、成人者の誓いのことばを中村莉彩（りさ）さんが読み上げました。「大学生になり、積極的な行動の大切さを実感している。二十歳を迎えた今これまで支えてくださった多くの方々へ感謝の気持ちを忘れず、自らの行動に責任を持ちながら様々なことに挑戦していきたい。」とこれからの決意を語りました。この先の時代を担う成人者の大いなる活躍を期待いたします。



左から中村さん、中井さん、佐竹さん
※写真撮影時のみマスクをはずしております。

今回の成人式で会場となった栄小学校をはじめ、第3地区青少年健全育成推進協議会、富士見地区地域支え合い協議会、富士見利用者の会、富士見市民センター利用者からご協力いただきました。皆様のお力添えにより厳粛な式典が無事に開催できましたことをこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

富士見市民センター事業

今年度の富士見市民センター事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ「できることをやろう」と慎重に歩みを進めてきました。しかしながら、予定していた「夏休み子ども縁日」は休館により中止となり、富士見わかばまつりも中止との判断をせざるを得ませんでした。そのような状況のなか、芸術活動団体による「秋の作品展示会」や、高齢者を対象とした「振り込め詐欺被害防止対策講話」などを感染状況の緩やかな秋頃に開催することができました。

また、子どもの市民センター利用が減少するなか、どうか地域における世代間の交流を図れないかと、わかば台幼稚園様のご協力を得て、園児達の作品を市民センターロビーに展示しました。

「自分の子どもが大きくなってしまうと、園児達の作品に触れる機会が無いので嬉しいです」とのお声をいただき、人と人が触れ合う交流の重要性を実感しました。これからも心を通わせる架け橋となる施設でありたいと思っています。



左から、そらまめくん、火星探査機、宇宙人
かわゆるし作品に心が癒されました



秋の作品展示会の様子
芸術の秋にふさわしい展示の数々でした

今年度の事業について

今年度も関係者及び来場者の健康・安全面を考慮し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月の結桜まつりをはじめ今年1月のどんと焼きなど、昨年に引き続き東市民センターの事業が中止となりました。

東市民センターが事務局をしている令和4年鶴ヶ島市成人式については、市内小学校の体育館5会場において、十分な感染拡大防止策を講じながら1月9日に開催することができ、554名の新成人が参加しました。

今後の予定

令和4年4月9日（土）に予定している結桜まつりについては、現在開催に向けて利用団体と準備を始めているところですが、例年の内容より規模を縮小してコンパクトなまつりとするように検討中です。

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、実施できるかまだわかりませんが、2年ぶりの開催となる結桜まつりを楽しみにしているところです。

学校から

栄小学校

第3地区青少年健全育成推進協議会の皆様には、日頃より子ども達の健やかな成長のためにご尽力いただき感謝申し上げます。

今年度も感染症対策のもと様々な制限がある中でしたが、いくつかの学校行事を工夫して実施することができました。今まで当たり前と思っていたことが、実はとてもありがたいことだったと気づかされるものがたくさんありました。知恵と工夫と協力が求められる学校生活の中で、人と触れ合うことのありがたさ・嬉しさを改めて感じます。

「今できることを考え、できる形で最高の行事にする」という学びの多い日々です。6年生や代表委員が、子どもならではの柔らかな発想で、新たな試みを生み出してくれたり、地域の方のご協力をいただいたりする中で、うれしい発見もありました。そんな活動の一部をご紹介します。

【全学年そろっての運動会】全校で行う運動会は2年ぶりでした。大きな声を出せないのなら、どんな工夫をしたら運動会が盛り上がるか…。考えに考えて、力と心をあわせて運動会に臨みました。応援団員・代表委員、各役員それぞれが、運動会の成功のためにきびきびと全力を尽くしました。



【読み聞かせ】今年は距離を保ちながら実施することができました。



【栄小スタンプラリー】開校記念日の恒例行事となっている「栄小スタンプラリー」今年も感染状況を見ながら、代表委員が様々な意見を出し合い、スタンプラリーが実施できました。密集や密接を避けてできるゲームを考え、今年度唯一の貴重な縦割り活動となりました。



青少年健全育成推進協議会より学校にいただいた『環境美化費』で学校の花「チューリップ」の球根を500個購入しました。1年生は初めて植えるチューリップ。生活科の学習の一環として、自分のマークの場所に慎重に植えていきます。芽が出るのも葉が伸びるのも楽しみです。そして、春に花が並んで咲くのが、とっても楽しみです。



学校らしく・学校ならではの時間を紡ぎつつ学校生活もまとめの時期を迎えます。子ども達は「かしこく・やさしく・たくましく」の学校教育目標に向かって、最後まで元気に過ごしていきます。これからも、ご支援をよろしくお願いたします。

杉下小学校

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症への対策を行いながらの教育活動となりました。昨年8月には、東京オリンピックが開催され、たくさんの感動を間近で見ることができました。特に杉下小学校では、学校脇を聖火ランナーが通過するという、一生に1度あるかないかの大変貴重な瞬間を体験することができました。また、学校における学習環境も大きく変化しました。国のGIGAスクール構想により鶴ヶ島市でも飛躍的にICT化が進み、一人一台のタブレットが導入されました。

そのような中、本校では『きれいに、ていねいに、美しく』をスローガンに掲げ、教育活動に取り組んできました。今年度、本校で実施してきた美化活動や特色ある体験活動、授業風景などについてご紹介いたします。

今後も、子ども達の健やかな成長のためにご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

<美化活動>



人権の花植え



クリーンタイム



PTA 花苗植え

<体験活動>



市制30周年記念事業
子ども宇宙プロジェクト



うちわ作り体験



サツマイモの苗植え

<授業風景>



リモートでの福祉学習



タブレットを活用した学習



聖火リレーのライブ中継観覧

富士見中学校

第3地区青少年健全育成推進協議会の皆様には、日頃より学校の教育活動を支援していただき、心より感謝申し上げます。今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の皆様と交流させていただく機会がほとんどなく、大変残念に思っております。

今年度も感染予防対策を最優先とした学校生活が続きましたが、昨年度の取組を踏まえできるだけ全校生徒が一体となれる活動を模索しました。特に学校行事では、3学年が一堂に会して実施できるように工夫し、富士見中のよき伝統の継承を目指しました。

体育祭では、競技種目を残念ながら少し減らしましたが、3学年縦割りの団(赤、青、黄)対抗で実施することができました。合唱コンクールは、自由曲1曲だけの発表となりましたが、今年も全校生徒が体育館に集まり、それぞれのクラスの練習の成果を全校生徒で聴き合い、お互いの頑張りを褒めたたえ合いました。保護者の皆様には、体育祭では各家庭2名までの参観、合唱コンクールではお子様の学年の発表のみの参観、と制限をつけさせていただきご不便をおかけいたしました。また、地域の皆様をご招待することができず、大変残念で心苦しく思っております。また、学校行事だけでなく、環境整備作業やPTA活動等においても、これまでのようにご協力のお願いができなかったことも重ねて残念に思っております。

来年度こそは、新型コロナウイルス感染症が収束し、これまでのように家庭や地域の皆さまにたくさん応援していただけるような教育活動ができることを願ってやみません。

今後とも、生徒の健やかな成長のためにご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

体育祭「選手宣誓」



合唱コンクール

